

2024年6月15日

ディケンズ・フェロウシップ日本支部ニューズレター

今年の春季総会は6月8日（土）に福岡大学で開催されました（昨年度まで秋季に開催していた総会は今年度から春季の開催となります）。

当日はあいにくの雨空とはなりましたが、50名もの方々にご参集いただき、大盛会となりました。今回のプログラムは、いずれも他の文学者に焦点を当てることによってディケンズの特徴をあぶりだそうという趣向でした。舞台芸術の臨場性を意識されたDavid Chandler氏の楽しいご講演は、Ainsworth作品のアダプテーション研究を通して、ディケンズのメロドラマの特質を見事に際立たせてくださいました。また、外部講師として3人の案内人をお招きした今回の「文学カフェ鼎談」は全く新しい試みでした。しかし案内人の皆さんは、それぞれの作家についてのたいへん濃い内容のトークのあと、活発な質疑応答を経て、結果的にディケンズ（作品）との単純な比較を超えた、複雑かつ多様な文学的共振（シンクロ）の例を見せてくださりました。講演、鼎談ともにたいへん刺激的でした。お話いただいた皆様（Chandler先生、伊藤正範先生、森有礼先生、宮原一成先生）、進行役をお務めいただいた方々（木島菜菜子先生、宮丸裕二先生）、有難うございました。この場をお借りして、改めまして御礼申し上げます。

プログラム終了後は、キャンパス内の別会場に移動しての懇親会。こちらも40名近くのご参加をいただき、大盛会となりました。新野緑先生に乾杯のご発声をいただいた後は、時を忘れて皆でひたすら飲み、食べ、そして歓談に興じました。う～ん、まだまだ飲み（しゃべり）足りないという面々は二次会に向かわれた模様……。

総会の運営にあたっては、渡部智也先生を始めとして福岡大学の皆様に（学生さんばかりでなく先生方にも）たいへんお世話になりました。この場をお借りして改めまして御礼申し上げます。そして、当日会場までお運びくださった皆様、有難うございました。

以下に総会での議事の内容をお知らせします。

審議事項

1. 規約の一部改正について

1) ディケンズ・フェロウシップ日本支部（以下日本支部）理事の任期については、歴代支部長（および理事会）間で共有された申し合わせ事項がありました。

〈支部長、副支部長の任期は理事の任期としてカウントせず、別枠の任期とみなす。〉

これは日本支部が継続・安定的に理事および支部長、副支部長を選出して行く上で重要な運営上の取り決めなのですが、これまで明文化されておられません。今後も理事間でこの取り決めが共有され続けることを確実にするため、この度、規約に以下のような新たな文言を追加することが理事会より提案され、承認されました。

第9条（役員を選出および任期）

現：(2) 役員任期は3年とし、連続2期6年を越えて留任しない。

新：(2) 役員任期は3年とし、連続2期6年を越えて留任しない。**ただし、支部長、副支部長、監事の任に新たに就く者についてはこの限りではない。**

2) 現規約には「財務理事の任期は支部長の在任期間とする」とされております。理事職を担当可能な人材が著しく限られている現日本支部の状況では、この文言は場合によっては運営上の障害になりかねないと現理事会で判断いたしました。そのため、以下のように制限を緩和するための文言を加えることが理事会より提案され、承認されました。

第9条（役員を選出および任期）

現：(3) 財務理事の任期は支部長の在任期間とする。

新：(3) 原則として、財務理事の任期は支部長の在任期間とする。

2. 日本支部の SNS 活用について

会員の熊谷めぐみさんから日本支部公式 SNS を開設して、情報発信をしてはどうかのご提案をいただきました。このご提案の背景には以下のような事実があります。

・現状のままだと確実に日本支部会員は減少し続けると予測されるので、日本支部存続維持のためには、大学関係者・研究者以外の一般の人たちにも広く日本支部の存在・活動を周知する必要がある。

・ディケンズ・フェロウシップ本部や Dickens Society 、国際アーサー王学会日本支部等も積極的に SNS を活用している。

この度、理事会で協議した結果、公式 SNS の開設も視野に入れたうえで、一般（大学関係者以外）の方々を勧誘する方策を検討していくこととなりました。その一環として、今後理事会を中心に日本支部として SNS の活用を検討していくという方針についてご審議いただき、お認めいただきました。現段階では、何をどのように行うのか、具体的なことは全く決まっておられません。日本支部 ML、ならびに支部長宛てメールなどで、ご忌憚のないご意見、ご提言をいただけましたら幸いです。

報告事項

1. 会費納入について（長谷川雅世財務理事より）

会費納入が遅れますと *The Dickensian* 誌をお手元にお届けするのが難しくなります。また、昨今、英ポンド高/円安が続いている状況ですので、本部への *The Dickensian* 誌代の支払に充てる財源を十全に確保しておく必要がございます。つきましては、**会計年度内のできるだけ早い時期に確実にご入金いただけますようよろしくお願いいたします。**

★会費の支払いは、郵便振替でお願いいたします。（振替番号 00130-5-96592）

2. 郵便通信の廃止について

会員の皆様への連絡やお尋ねを迅速に漏れなく行うために、日本支部ではニューズレターや総会出欠伺等の通信手段を、ゆくゆくは全て電子メールに一本化したいと考えております。従いまして、将来的にはいかんともしがたいご事情で郵便での通信をご希望の方を除き、郵便でのご連絡は段階的に廃止させていただく所存です。なお、これに伴いまして、今後まずは会員の皆様にご登録いただいているメールアドレスが確かに有効であるかどうか確認させていただくことがあるかと思っております。その際は、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

複数の方からお尋ねいただきました来年度の春季総会の詳細につきましては、会場の都合で来年年明け以降でないとは確かなことは申し上げられません。会場、日程が確定次第ご案内申し上げますので、どうぞ楽しみにお待ちしております。



ディケンズ・フェロウシップ日本支部長 松本靖彦